

トップレベルドメイン(TLD)に 気をつけて！

TLD名前衝突 (name collision) 問題

JANOG33 Lightning Talk 2014.1.24

外山勝保

New gTLD

新しい汎用トップレベルドメイン

- **新たなトップレベルのドメイン名が次々に付与**
 - ICANN新ポリシーの下での委任開始 2013年10月23日
 - 申請数 1930 うち承認されそうなもの 1400程度

- ASCII

- .equipment
- .holdings

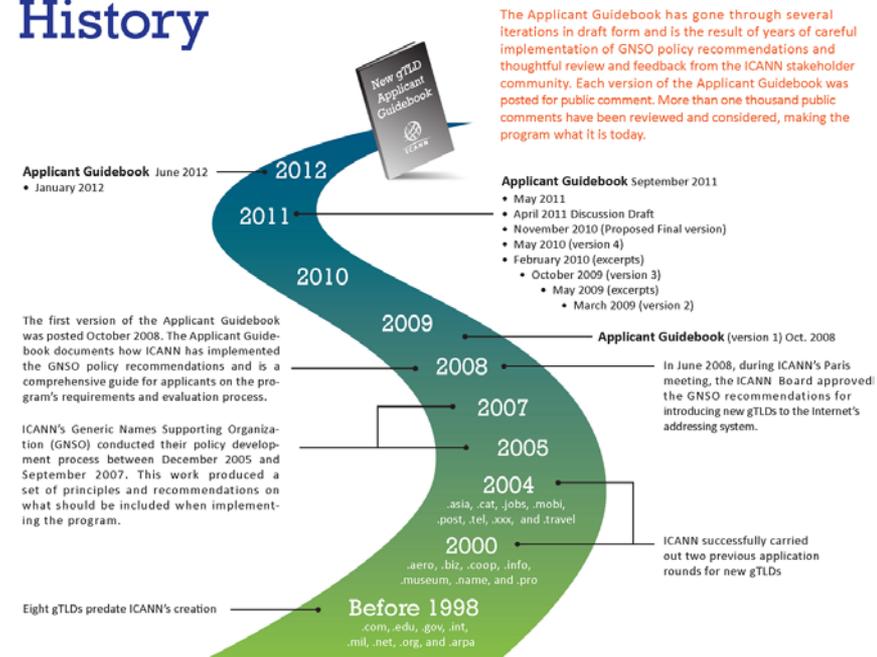
...

- 国際化ドメイン (IDN)

- 游戏(xn--unup4y)
 - Chinese for "game(s)"
- みんな (xn--q9jyb4c)

...

History



<http://newgtlds.icann.org/en/about/program>

大昔は。。

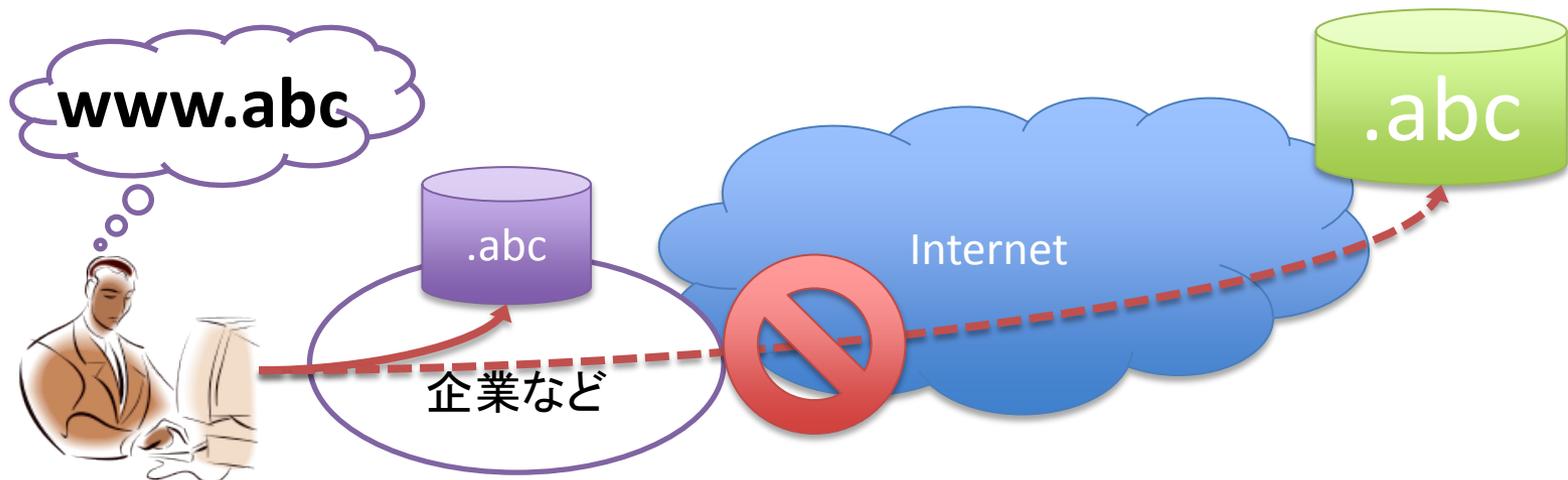
- 決められたトップレベルドメイン以外を使ってはいけないとは知らずに、独自のTLDを必要に迫られて使ってしまった。。。。

.flets とか 😞

“Name Collision”

名前が同じだとどうなるの？

- 新たに使い始めるトップレベルドメイン名が、内部で使っていた「独自」ドメイン名と同じだったら。。。。
- 「単に通信できないだけじゃん」



ちょっと待って！

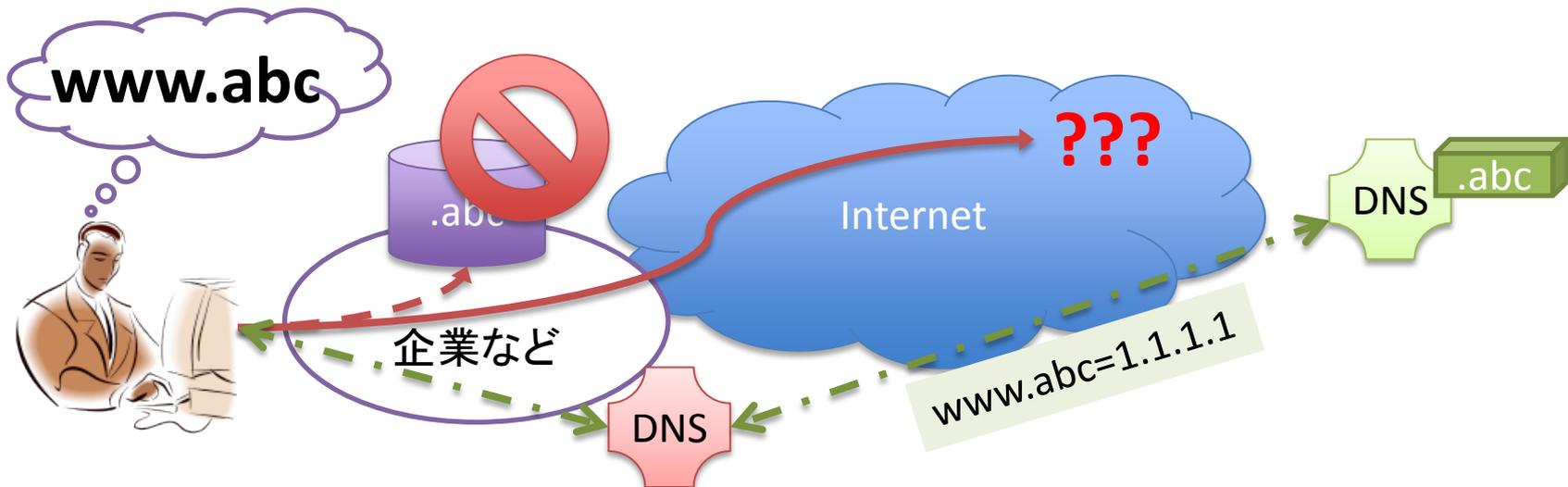
- 社内システムにつながらなくなる

- これまでは、Globalに漏れた問合せに
応答がなかったゆえに、
社内システムに接続できていた

- Global からアドレスが返ってくると



本来とは
異なる
挙動に

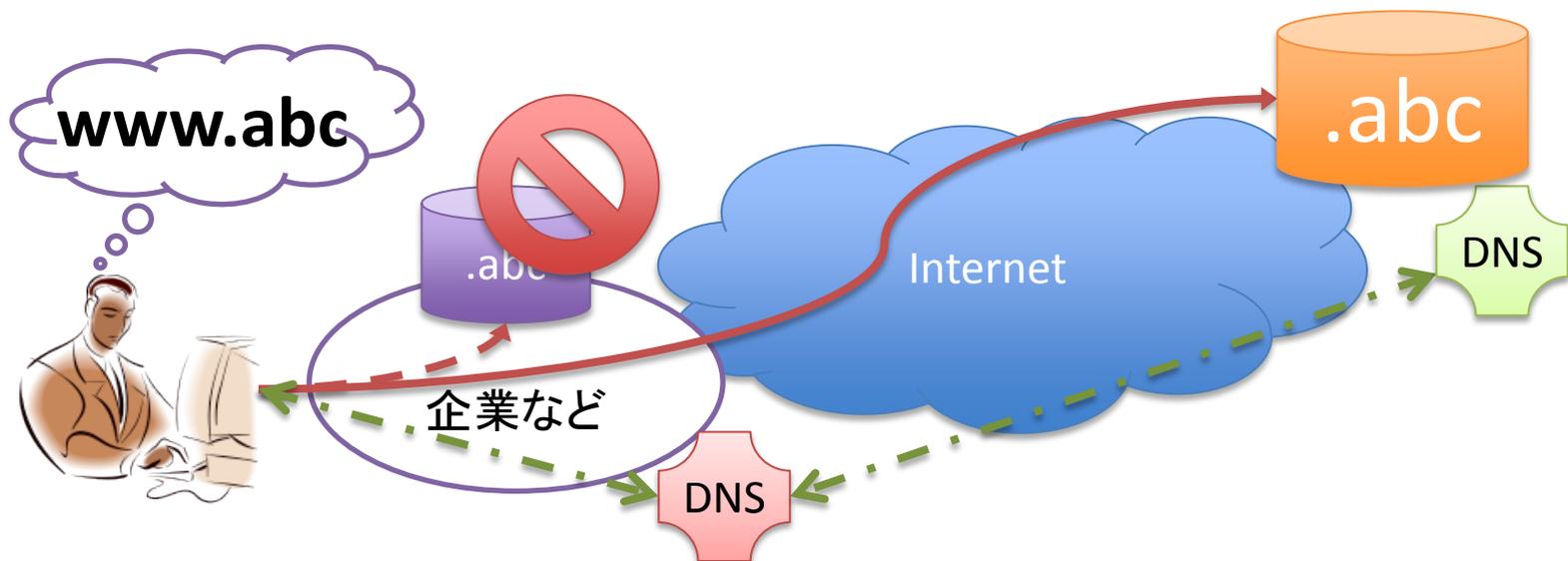


ちょっと待って！

- **セキュリティが低下する**

- Global から返されたアドレスにアクセス

- ID/Password など、**個人情報が流出する**
可能性がある

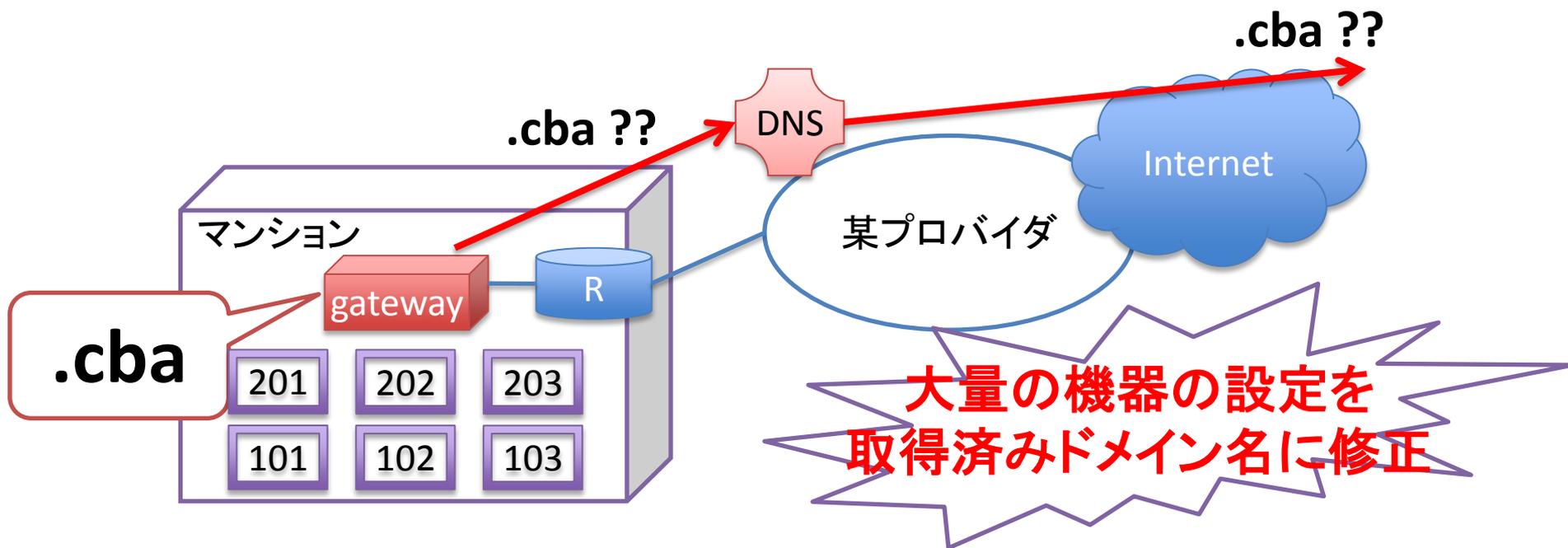


ICANNの取り組み

- 管理の枠組み作成
- 問合せ窓口設立
- 周知活動
- **IT専門家向けガイド**
- プライベートドメイン名の検討
- **リスク評価**
- 申請プロセス見直し
- 契約文面の変更

ICANNのリスク評価にて

- NTTグループの某プロバイダに対し Verisign社から“.cba”の問合せが頻発と指摘あり
 - “.cba” = 申請者はCommonwealth Bank of Australia
 - マンション向けの、とあるサービスに用いるゲートウェイ機器のconfigに、“.cba”を設定していた



どこから発生するのか??

- 独自につけてしまったトップレベルドメイン
- **サーチリスト** (Search list)
 - FQDN: www.abc.example.com
 - Search list = example.com
 - **www.abc** をGlobalに問い合わせってしまう可能性あり
- [参考] <http://forum.icann.org/lists/comments-name-collision-05aug13/pdfswejx3rLKE.pdf>
- [参考] <http://forum.icann.org/lists/comments-name-collision-05aug13/pdfx3ppjFTS00.pdf>

想像以上にリスクあり

- 「トップレベルドメインに気をつける」
- 「社内等での独自ドメイン名に気をつける」
ことを、まずは知ってもらう必要あり
- 誰に？
 - プロバイダ
 - 製品ベンダ
 - Sler
 - エンドユーザ(企業など)

今後の活動

- JPNIC専門家チーム結成
 - － 関係者への啓発・提言文書を作成
 - ICANN等のドキュメントを参考に
 - 日本語で ☺
 - － 2014年3月末目途
- 周知活動
 - － 関係者が集まるいろいろな場で
 - 本問題の認知・理解を深めていただく
 - 可能であれば対策を講じていただく

- ご清聴ありがとうございました。

「内部の」トップレベルドメインに
気をつけて！

TLD名前衝突(name collision)